

令和元年度 鶴岡市地域包括支援センター運営協議会議事録（概要）

○日 時 令和元年12月18日（水） 午後2時35分～午後3時10分

○会 場 鶴岡市第三学区コミュニティーセンター 大ホール

○出席委員 土田兼史（会長）、小林達夫（副会長）、日向常浩、清野肇、遠藤豊喜、鎌田剛、長南くに子、佐藤八重、長谷川典子

○欠席委員 渋谷広之、佐藤豊継、菅原繁

○市側出席者 健康福祉部次長兼地域包括ケア推進室長 渡邊健、長寿介護課課長 天然せつ、長寿介護課長補佐 加藤早苗、同課主査 長谷川洋子、五十嵐美恵子、石井美喜、同課高齢者支援専門員 上林一志、同課専門員 工藤順也、同課主事 高橋宏知
地域包括ケア推進室主査 剣持健志、
藤島庁舎市民福祉課課長 伊原千佳子、羽黒庁舎市民福祉課課長 佐藤美香、
櫛引庁舎市民福祉課課長 佐藤美鈴、朝日庁舎市民福祉課課長 成沢真紀、
温海庁舎市民福祉課専門員 五十嵐伸明

○公開・非公開の別 公開

○傍聴者の人数 1人

○次 第 1. 開 会
2. 交代委員紹介
3. 鶴岡市地域包括支援センター運営協議会
【報告・協議】
(1) 地域包括支援センターの運営状況について
(2) 指定介護予防支援ケアマネジメント業務委託について
(3) 令和元年度地域包括支援センター運営方針並びに各地域包括支援センター運営活動計画について
(4) 地域包括支援センターの事業評価について
4. その他
5. 閉 会

○協議内容（議長：土田兼史会長）

3. 報告・協議

- (1) 地域包括支援センターの運営状況について 【資料1】
(説明：長寿介護課 主査 五十嵐美恵子、石井美喜、同課主事 高橋宏知)
- (2) 指定介護予防ケアマネジメント業務委託について 【資料2】
(説明：長寿介護課主査 五十嵐美恵子)
- (3) 令和元年度地域包括支援センター運営方針並びに各地域包括支援センター運営活動計画について
【資料3】 (説明：長寿介護課主事 高橋宏知)

◆質問等

[委員] 資料1の2ページ、総合相談・支援等事業が、3年間を見て、相談件数が減った理由として生活支援コーディネーター（以下、SCと記載）の対応が反映されていないことが記載されているが、相談したい人の相談先は、地域包括支援センターか、SCか、それは誰が決めるのか。

- [事務局] 誰が決めるかというより、地域包括支援センターの職員が外出している時にＳＣが相談を受けたり、ＳＣが地域で活動している時に相談を受ける場合もある。
- [委員] 地域包括支援センターの減少分をＳＣが対応したとしたら、その分はどこで集計されているか。
- [事務局] 平成 30 年度も月報として報告は受けているが、年度の途中からＳＣの配置が始まり、初年度は地域の実態を把握することに重きを置いたため、細かい個別相談内容までの把握・集計はしていない。
- [委員] 今年度、ＳＣは年度当初から活動しているので、来年の数字はまた変化している可能性があると思う。全体の相談件数は両方を足さないと見えなくなるのではないか。
- [事務局] ＳＣから地域包括支援センターに繋ぐべき相談件数は、地域包括支援センターの集計に入っていると思う。ただし、平成 29 年度は、総合事業が始まった関係で特異的に相談件数が多かった年だったということも補足したい。なお、ご意見を受け、ＳＣが個別に受けた相談の実績をどのように表せばいいか、地域包括ケア推進室とも検討していく。

(4) 地域包括支援センターの事業評価について

- ①全国指標による事業評価結果について【資料 4-①】
- ②地域包括支援センター相談実績について【資料 4-②】
- ③住民主体の介護予防活動の状況について【資料 4-③】
- ④認知症地域支援体制づくりの状況について【資料 4-④】

(説明：長寿介護課主査 五十嵐美恵子)

◆質問等

特になし

4. その他

5. 閉会